

「釜利谷地区における自然環境との調和に向けて」について

記者発表資料

釜利谷地区における自然環境との調和に向けた取り組みの概要を冊子で紹介

高速横浜環状南線（以下、「横環南」）は、横浜市金沢区釜利谷町^{かまりや}から同市戸塚区汲沢^{くみざわ}町までの延長約9kmの自動車専用道路であり、横浜市中心部に集中する交通を分散し、市内の慢性的な交通渋滞を緩和すること等を目的に計画されている横浜環状道路の一部で、平成7年に都市計画決定されました。また、首都圏中央連絡自動車道にも位置付けられています。

釜利谷地区は横浜市内でも比較的自然環境がまとまりをもっている地域であり、ヒメウキガヤ（神奈川県絶滅危惧種）やホトケドジョウ（環境庁レッドリストの絶滅危惧I B類）等の生育・生息が確認されています。

横環南事業では、この釜利谷地区（横浜市金沢区釜利谷町）の自然環境との調和に万全の措置を講じていくため、環境影響評価書や横浜市環境影響評価審査会の意見等を踏まえ、自然環境の保全・復元・創出を基本方針として、横環南と釜利谷地区の自然環境との調和に向けての調査・検討を進めてきたところです。

平成8年からは、「横環南自然環境検討委員会」（委員長：亀山章東京農工大学農学部教授）を設置しての専門家等による調査・検討・ヒメウキガヤの一部移植実験等を行い、平成11年10月に同委員会から「中間報告」がなされています。また、こうした調査・検討の内容を、事業者として適宜具体化していくための「釜利谷地区自然環境保全管理基本計画」を作成し、横環南の工事等に反映させていくこととしています。

なお、ヒメウキガヤの一部移植実験におけるこれまでの調査によって、「ひょうたん池」とその代替池として整備した「新ひょうたん池」について、水質・水量、水生動物の生息状況等からほぼ同質な環境が形成されていることが確認され、ヒメウキガヤの生育についても良好であることが確認されております。

今後とも引き続き、調査・検討を進め、詳細な設計及び工事等において、適宜、具体化を図っていく予定ですが、今般、釜利谷地区の自然環境との調和に向けた取り組みの概要をお知らせし、より一層の横環南事業へのご理解・ご協力を頂きたいと考え、パンフレット「釜利谷地区における自然環境との調和に向けて」を作成いたしましたのでお知らせいたします。

なお、入手ご希望の方は、下記の「お問い合わせ先」迄、ご連絡願います。

平成13年1月17日

JH日本道路公団横浜工事事務所

国土交通省横浜国道工事事務所

発表記者クラブ

神奈川県政記者クラブ

横浜市政記者会、横浜ラジオ・テレビ記者会

お問い合わせ先

日本道路公団 横浜工事事務所

工務課長 良峰 透

電話 045-353-3771(代表)